水生生物調査　2024年　1月～6月

上瀬谷A地点・田んぼビオトープ

	1月22日(月)				2月18日(土)				3月17日(日)				4月21日(土)				5月20日(土)				6月24日(土)			
場所	A		HB		A		HB		A		HB		A		HB		A		HB		A		HB	
時刻	14:30		14:00		13:50		14:50		13:40		14:10													
気温・水温	14.1	11.1	13.0	12.4	12.5	―	10.4	9.8	19.1	16.8	20.3	18.1												
PH・伝導率	6.9	172	7.0	126	―	―	7.2	186	7.1	240	7.0	167												
1 ヨコエビ			○				○			◎	○													
2 ミズムシ(ダンゴムシ型)							○			○														
3 ヌマエビ			○								○													
4 スジエビ																								
5 ミジンコ																								
6 ザリガニ			○								○													
7 サワガニ																								
8 ミズムシ(オール型)			○				○																	
9 ハイイロゲンゴロウ																								
10 ガムシ																								
11 ヤゴ(シオカラ等)																								
12 ガガンボ																								
13 サホコカゲロウ											○													
14 カクツツトビゲラ																								
15 ユスリカ			○				○			○	○													
16 アメンボ											○													
17 ヘイケボタル																								
18 カワニナ		○				○																		
19 サカマキガイ											○													
20 タンスイシジミ										○														
21 マメシジミ		○				○				○														
22 プラナリア																								
23 ヒル										○														
24 ミミズ																								
25 イトミミズ							○																	
26 ドジョウ																								
27 クロメダカ			○																					
28 オタマジャクシ																								
29 カワモズク																								
30 アオミドロ																								
31 その他　合計数		2	6			3	5			6	7													
備考	A：20日間の干上りの後の昨日の降雨で、水路に水溜まりができていた。水底の泥まで掬い上げたが、生きた水生生物は小さな貝類だけで、植物の部位や種子・カワニナの殻等が捕集された。今後どんな生物が再生してくるだろうか。				A：水路はほとんど干上がっていて、少し湿り気のある土中にカワニナ・シジミ類が採集できた。TB：西側水路の流れが止まり、わずかな溜水の中に5種の生物が確認できた。干上った所にはサギ類やイタチの足跡が残っていた。				A：水路の下流側が異物で堰き止められていたため水位が高くなり、生物種数が1，2月より増えた。常に生息していたカワニナは確認できず残念である。TB：上流からの水が安定して流入し、種数がA地点より多くなった。															